



さちが丘小学校 学校だより

5 月 号

平成 30 年 5 月 1 日

横浜市立さちが丘小学校

校長 中澤 道則

TEL.361-0777 FAX.361-0787

# 若 竹

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>



## 50 年後への架け橋

学校長 中澤 道則

さちが丘小学校が創立されたのは昭和 43 年（西暦 1968 年）。ご存知のように今年度 50 周年を迎えます。その昭和 43 年とはどんな年だったのか調べてみました。

この年にはメキシコオリンピックが開催されました。子どもながらにサッカーの銅メダルや男子体操の活躍に心を躍らせたことを覚えています。特にサッカーは 3 位決定戦で開催国メキシコと対戦しての銅メダルということでも印象に残っています。他にもこの年には「人生ゲーム日本版」が発売されたり、小笠原諸島が日本に返還されたり…。今はいろいろなところで見られる「ハンバーガーチェーン店」もまだ日本には店を出していませんでした。また、カラーテレビはもうありましたが、平均月収が 43,000 円ほどのこの年、200,000 円近くしました。電話はもちろん「黒電話」。ダイヤル式でした。（他にもいろいろありますがあとは「昔調べ」の学習で 3 年生に調べてもらいましょう！）



それから 50 年。日本は、そして日本に暮らす人たちの生活は大きく変化しました。テレビも当時の「ブラウン管」から「薄型」になり、電話も「黒電話」から「携帯電話、スマートフォン」へ。今、AI の発達等で社会は加速度的に変化し続けており、これから先の 50 年はこれまでの 50 年とは比較にならないほど大きく変化していくと予測されています。

このような社会の変化は学校教育にも関係しています。昨年の 3 月に改訂された学習指導要領では、このように急速に、そして大きく変化する社会に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決したり、新たな価値を創造したりすることのできる子どもを育成することの重要性が強調されています。そのキーワードが「主体的・対話的で深い学び」です。4 月 12 日（木）に行われた 2 年～6 年までの授業参観でも「先生の説明を子ども達が聞き、学ぶ」授業だけでなく「子ども達が話し合ったり、活動したり」する授業が数多く見られたのではないのでしょうか。さちが丘小の子ども達にもこのように友だちと共に学び、自分の力で課題を見出したり解決したりする力を育てていきたいと考えています。



50 年後、さちが丘小学校 100 周年の年には今の 3 年生は私と同じ年になっています。その時、子ども達はどのような社会に生きているのでしょうか。50 年前から 50 年後へ。子ども達には「50 年後への架け橋」として、これからも自分らしく、真っ直ぐに、そしてしなやかに成長してほしいと願っています。今月末には「第 50 回ゆめさち運動

会」も「50周年記念バージョン」で実施します。皆さん、今月も宜しくお願いします。